

## 【沖縄から世界へ、平和の発信】

平和を希求する「沖縄のこころ」の発信に向け、グローバルな視点に立った顕彰制度である沖縄平和賞と身近な社会貢献活動に光を当てたちゅうちな一草の根平和貢献賞などの取組を推進するとともに、平和の礎や平和祈念資料館における証言映像の収録・展示、学芸員育成や調査研究の充実を図ります。



ちゅうちな一草の根平和貢献賞

## 第3 「生活分野」 —沖縄らしい優しい社会の構築—

### 【医療の充実・健康福祉社会の実現】

新型コロナウイルス感染症については、感染拡大防止に向けて、「感染症総務課」、「感染症医療確保課」、「ワクチン・検査推進課」に再編し、エッセンシャルワーカーに対するPCR検査の強化など、検査体制の充実に取り組むとともに、保健所の体制強化や感染症患者受入医療機関への支援等による医療提供体制の強化、那覇空港及び本土と直行便の就航する離島空港における水際対策の強化などに取り組めます。



那覇市内に設置した入院待機ステーション

また、県立病院においては、医療フェーズに応じたコロナ病床を確保するなど、引き続きコロナとコロナ以外の医療の両立に努めてまいります。

ワクチン接種については、国や医師会等の関係機関と連携し、実施主体である市町村を支援するとともに、県の広域ワクチン接種センターにおいて追加接種を行うなど、積極的に推進してまいります。

医療の提供体制の充実に向けては、北部、離島地域の医師不足及び診療科偏在の解消などに取り組めます。

薬剤師確保については、県内における薬学部設置の早期実現に向け、県の基本方針の策定に取り組めます。

沖縄県立看護大学については、令和4年4月1日の公立大学法人化に向け、移行作業を進めてまいります。

「健康・長寿おきなわ」の復活を目指して、健康づくりに対する県民一人ひとりの意識の醸成、企業における「健康経営」の推進や歯科口腔保健対策に取り組めます。

障害のある人に対する理解を深めるための取組の推進、発達障害者や医療的ケア児等に対する地域支援体制の整備など、障害者の地域生活支援に取り組んでまいります。



専門医による巡回診療（整形外科）



「健康・長寿おきなわ」の復活

## 【子育て・高齢者施策の推進】

こどもの最善の利益を第一に考え、こどもがひとしく健やかに成長することができる社会の実現を目指し、国が進める「こども家庭庁」創設に適切に対応できる体制の構築に向け、県の組織編成に取り組めます。

待機児童が生じることがないように、保育士の労働環境の改善及び潜在保育士の復職支援等に取り組むとともに、認可外保育施設を含めた幼児教育・保育の質の向上に取り組めます。

また、多様な保育ニーズに対応するため、市町村と連携の下、育児相談等の地域子育て支援拠点や延長保育、病児・病後児保育、預かり保育、

医療的ケア児の受け入れ等のきめ細かな子育てサービスの提供体制の整備に取り組めます。

さらに、公的施設を活用した放課後児童クラブの整備を促進すること等により、クラブの環境改善や保護者負担の軽減に取り組めます。

母子健康包括支援センターの設置促進などライフステージに即した母子保健、子育て支援の施策を推進するとともに、ひとり親家庭の養育費の取得に資する取組を強化するなど、引き続き、ひとり親家庭等の支援を推進します。

また、身体的、精神的な悩みや不安を抱えた若年妊婦等が、身近な地域で必要な支援を受けられるよう、相談員を配置し、SNS等を活用した相談支援や、産婦人科への同行支援等に取り組んでまいります。

家庭内の問題として表面化しにくいヤングケアラーについては、実態把握と早期発見に努め、適切な支援につなげていけるよう市町村等との連携強化に取り組めます。

児童相談所の体制強化を図るとともに、虐待を受けた子どもの相談が容易にできる環境を整備するなど、児童虐待の防止に取り組めます。



保育士の業務風景

介護サービスの充実など、地域包括ケアシステムを推進し、認知症対策や介護人材確保対策、特別養護老人ホーム等の整備支援などに取り組みます。



介護に関する入門的研修(伊平屋村開催)

また、女性が社会のあらゆる分野でその持てる力を発揮できるよう、引き続き「ている塾」を開講する等、ジェンダー平等や女性のキャリア形成の促進に向けて積極的に取り組んでまいります。

加えて、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大の影響等により生活再建に向けた支援を必要とする方々や生活困窮者に対し、就労や家計等に対する包括的な支援に取り組みます。

### 【地域力の向上・くらしの向上】

民生委員・児童委員の一斉改選に向け担い手の確保に取り組むとともに、適切な福祉サービスが利用できる体制の構築を推進します。

離島過疎地域を含む県全体でバランスのとれた人口の維持・増加を目指すため、移住相談会や体験ツアーの開催など、U J I ターン促進・支援を行います。



移住体験ツアーの様子

### 【世界に誇る沖縄の自然環境を守る】

環境分野においては、加速する国のカーボンニュートラルに向けた取組を踏まえ、本県の「第二次沖縄県地球温暖化対策実行計画」における

温室効果ガス削減目標の引上げを行うとともに、県民一丸となった地球温暖化対策を実施してまいります。

加えて、「沖縄県クリーンエネルギー・イニシアティブ」に基づき、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた施策を積極的に推進します。

世界自然遺産登録地である「沖縄島北部及び西表島」の豊かな自然環境と生物多様性を保全し、持続可能な地域づくりを推進するとともに、国立自然史博物館の県内誘致に向けて、県民と一丸となった取組を強化してまいります。

「沖縄県希少野生動植物保護条例」に基づく希少種保護を図るとともに、タイワンハブ等に対応する取組等、外来種対策を強化してまいります。

犬猫殺処分ゼロから廃止に向け、譲渡拠点施設を本格運用します。



外来種対策(タイワンハブ)

「沖縄県自然環境再生指針」を踏まえ、自然環境の保全・再生・適正利用を図るため、再生事業に関する市町村支援や全島緑化の取組を推進します。

森や水及び水源地域に対する理解の促進等を図るため、北部地域の水源の維持や環境保全、地域振興等を行い、やんばるの森・いのちの水を守る取組を推進します。

「沖縄県赤土等流出防止対策基本計画」を改定し、総合的な赤土等流出防止対策を強化します。



赤土で濁った海

海岸漂着物の回収・処理、マイクロプラスチックの調査等に取り組むとともに、使い捨てプラスチック使用の削減及びプラスチック資源の循環的利用の促進に取り組めます。

「沖縄県食品ロス削減推進計画」に基づき、食品ロスの削減に向けた各種施策を推進します。

### 【歴史と誇りある伝統文化の継承と発展】

沖縄文化の基層である「しまくとぅば」のアーカイブ化、沖縄の伝統的な食文化の普及及び文化の担い手育成等、文化の継承に向けた取組を推進するとともに、沖縄音楽コンサートの開催や県立博物館・美術館での各種特別展・企画展の開催に取り組めます。



東道盆(トゥンダーブン)

空手の保存・継承・発展については、第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップの策定に取り組むとともに、指導者・後継者の育成、空手専用ガイドの養成、沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の発信、第2回沖縄空手世界大会及び第1回沖縄空手少年少女世界大会の開催等に加え、ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組を推進します。

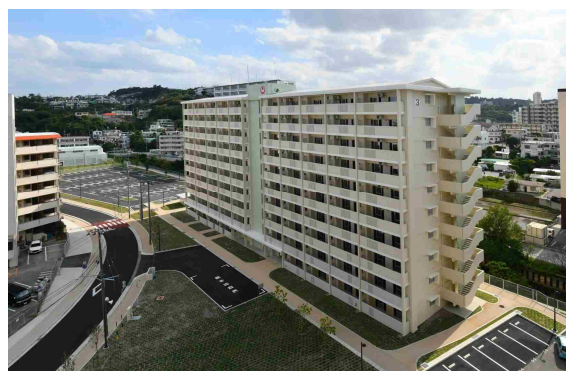


第1回沖縄空手国際大会 (H30)

## 【安心・安全で快適な社会づくり】

公共交通については、新たに策定する「沖縄県総合交通体系基本計画」に基づき、地域の多様な輸送資源を活用する取組を進めるとともに、基幹バスシステムの導入や交通結節点の整備促進など、市町村や各関係者と協力してシームレスな交通体系の構築に取り組みます。

住環境の整備については、県営高原団地、赤道団地、平良北団地等の建替えの推進、民間住宅の省エネ化やバリアフリー化を促進するとともに、高齢者等の住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援に取り組みます。また、県営住宅



県営大謝名団地(第3期)

への入居手続において、これまで求めていた連帯保証人を令和4年度から廃止し、低額所得者などの入居希望者の負担軽減を図ります。

災害に備えた強くしなやかな県土づくりに向けては、無電柱化の推進、老朽化した道路施設及び海岸堤防等の予防的な補修・補強や計画的な更新、民間施設などの耐震化に向けた取組などを推進します。

治水・浸水、土砂災害、高潮などの対策や、森林の維持・造成によるちょうふうがい潮風害の防止、山地災害の予防・復旧を図ります。

水道施設の計画的な更新や耐震化を推進するとともに、持続可能な下水道施設構築に向けた広域化・共同化、施設の増強・更新・耐震化や市街地の浸水対策に取り組みます。



水道施設(送水管)の更新・耐震化

「ちゅうらうちなー安全なまちづくり条例」に基づき、体感治安を改善させる抑止対策、少年の非行防止・保護対策、適正飲酒の働きかけを継続するなど、「ちゅらさん運動」を一層深化させます。



ちゅらさん運動の推進(いかのおすし)

犯罪被害者等の支援体制の強化を図るため、

「沖縄県犯罪被害者等支援条例（仮称）」の制定に向けて取り組みます。

また、「沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全の確保等に関する条例」に基づき、部局横断的に水難事故防止対策を推進するなど、安全・安心に暮らせる地域づくりに取り組みます。

交通事故のない沖縄県を目指して、交通ルールの遵守とマナーの向上、飲酒運転根絶に向けた取組を推進します。



飲酒運転根絶運動(虹への願い)

また、サイバー空間における脅威や薬物犯罪、暴力団・準暴力団等による組織犯罪等に的確に対処するとともに、DVやストーカー、性犯罪等の被害未然防止対策を強化します。

消費者被害の未然防止と早期救済に向けた市町村相談体制の充実や消費者への啓発などに取り組むとともに、成年年齢引下げに対応した消費者教育に取り組めます。

## 【離島力の向上】

離島診療所への医師派遣や専門医による巡回診療などによる医療提供体制の確保、離島患者の経済的負担の軽減などに取り組むとともに、離島の新型コロナウイルス感染症対策については、市町村及び関



係機関と連携し、離島空港での検査体制の拡充、入院病床及び宿泊療養施設の確保などに取り組みます。

離島航路及び航空路の交通コストや生活コストの低減、離島からの高校進学等に対する支援、港湾の機能向上などに取り組むとともに、本島周辺離島8村への水道水の安定供給と料金低減などを図るため、引き続き水道広域化に取り組んでいます。



交通コストの低減

加えて、DXの基盤となる5Gなど次世代の情報通信基盤の構築に向けて、先島・久米島地域の海底光ケーブル通信設備の機能強化や、南大東島と北大東島を結ぶ海底光ケーブルの敷設に取り組んでいます。

農林水産業については、生産性向上、担い手の育成・確保、製糖業の経営安定、地域の農林水産物の販路拡大、6次産業化などを推進し、域内循環の拡大に向け取り組んでまいります。

肉用牛生産の活性化に向けて、飼料生産基盤や畜舎等の整備を推進するとともに、かんがい施設等の農業生産基盤の整備に取り組んでいます。



下地島空港 (H24.3)

下地島空港等の離島空港を活用した、航空・宇宙関連産業の展開を推進します。

離島における廃棄物の適正処理対策については、事業者及び関係機関と連携し、課題解決に向けて取り組んでいます。

離島・過疎地域におけるオンラインの活用も含めた交流促進や観光振興などにより、離島・島しょ地域の活性化を図るとともに、テレワーク活用を促進します。

離島における防災力の向上については、自然災害等の緊急時における人的な救援や避難の準備の観点から、島々の特性に応じ、港湾等の耐震化に向けた取組やへりの離発着場所の確保、自主防災組織の整備、地区防災計画の策定、避難訓練の徹底など、島内での防災体制の整備等を促進します。

## 【教育振興】

学校教育については、新たな時代をつくるために必要とされる資質・能力を育むため、授業改善や学校改善を推進するとともに、ICTを活用した教育環境の整備など学習活動の充実を図ります。

また、生徒指導の充実を図るため、引き続き正規教員率の改善に取り組むとともに、教職員が児童生徒と向き合うための時間を十分確保するため、働き方改革の取組を推進してまいります。

小学校から高等学校までの学びをつなぎ、自己実現と社会参画を図るキャリア教育の充実に努めるとともに、県立高等学校において「多様な学びの在り方研究モデル校」を指定し学習支援員を配置するなど生徒個々の学びの状態に応じた教育の充実を図ります。



キャリア教育の様子

また、家庭・地域・関係機関等と連携して子どもの人権を尊重した

教育に取り組むため、暴力・暴言・ハラスメントの根絶に向け、令和3年12月に策定した部活動等の在り方に関する方針（改定版）の周知徹底に努め、健全で充実した望ましい部活動指導の実現を図ります。

県立真和志高等学校の「ゆい教室」での取組の検証を行うなど、沖縄らしいインクルーシブ教育システムの構築に向け取り組んでまいります。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用及び校内自立支援室の設置等により、いじめや不登校等の未然防止、早期対応に取り組むとともに、薬物乱用防止教育の強化に努めます。

海外研修への高校生派遣など、グローバル人材の育成に引き続き取り組みます。

特別支援学校については、那覇みらい支援学校の令和4年4月の開校に向けて取り組むとともに、中部地区においては、過密化解消に向け、新たな特別支援学校の設置に取り組みます。

特色ある教育を実践し、個性豊かな人材育成に貢献している私立学校を支援し、私学教育の充実、多様な人材の育成に取り組みます。

給付型奨学金の実施など、大学への進学を支援するとともに、大学や専門学校等に進学する意欲のある所得が低い世帯の学生に対し、国と連携し、支援に取り組んでまいります。

児童生徒が安心して教育を受けられるよう、就学援助制度の充実促進、就学支援金支給など、家庭の教育費負担の軽減に取り組みます。



薬物乱用防止教育の取組

また、家庭教育支援チームの設置促進、幅広い地域住民等の参画による学習支援や子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくりに取り組めます。

多様なニーズに応える「知の拠点」施設として県立図書館の機能の充実、離島等の図書館未設置町村における移動図書館等の実施による読書環境の充実に取り組めます。



移動図書館(空とぶ図書館)の様子

玉城青少年の家については、令和4年度の利用開始に向けて引き続き取り組めます。